



ゆう&あい

5月号
令和5年
4月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

播磨町 介護支援ボランティアポイント事業

通いの場や介護施設で、
皆さんの経験・知識・技術を活用して地域貢献しませんか。
活動に応じて、ボランティアポイントを貯めると景品と交換できます。

どんな活動をするの？ 町内の介護事業所で話し相手やドライバーかけなど
軽易なお手伝いをしたり、指定の通いの場を運営したりします。

少しでも興味・関心がある人は、まず講座を受講してください。
※活動は月～土曜日の日中になります。詳しくは講座で説明します。

定期的なボランティア活動が、ご自身の生きがいにつながります!!

介護支援ボランティア養成講座

実施日 いずれも内容は同じです。

5月10日(水)	
6月9日(金)	10時～
7月4日(火)	11時30分
9月5日(火)	

対象 40歳以上の住民の方で、継続的に
介護支援ボランティアをする意思がある方
場所 福祉しあわせセンター3階会議室2
内容 ①ボランティア活動の基本的な構え
②介護支援ボランティアポイントの説明
定員 10名程度 持ち物 筆記用具



申込み 地域包括支援センター ☎079(435)1841 各日程とも5日前までにお申込みください。

手話奉仕員養成(入門)講座 参加者募集

初めて手話を学習する方を対象に開講します。
聴覚障がい者と楽しく手話でおしゃべりしませんか? (※播磨町と高砂市の合同開催です)

- 日時 6月3日(土)～10月21日(土)のうち毎土曜日10時～12時 全20回 (※8月12日は休み)
- 費用 無料(ただしテキスト代実費3,300円が必要です。)*テキスト「手話を学ぼう、手話で話そう」(入門課程)
- 場所 高砂ユースアイ帆つとセンター (高砂市高砂町松波町440-35)
- 対象 手話に興味関心がある方(定員を超える場合、播磨町・高砂市のいずれかに在住か通勤の方優先とします)
- 定員 20名(先着順)
- 申込方法 下記まで電話でお申込みください。

お申込み・お問い合わせ 播磨町社会福祉協議会 TEL 079-435-1712

締切
5月26日(金)

誰でも集える

つどいカフェ 開催中

毎週火曜日 場所：福祉会館1階

時間 10時～15時(出入り自由)
参加費 100円(コーヒー・お菓子代)

5月2日 5月9日 5月16日 5月23日 5月30日

オレンジカフェ



野添カフェ



県営野添住宅集会所にて、日 5月19日(金)
頭の体操などを実施しながら 14時～15時30分
楽しく開催しています。 場所 野添県住集会所
参加費 100円

認知症カフェ

オレンジカフェ

認知症に関する相談、認知症の方も家族も気軽に立ち寄れる場所です。みんなで集まり交流しませんか?

カフェ夢の森

日時 5月12日(金)
10時～11時30分
場所 駅西公民館
※祝日のため変更

はっぴーカフェ

日時 5月18日(木)
14時～15時30分
場所 はっぴーの家

幸ちゃんカフェ

日時 5月26日(金)
13時30分～15時30分
場所 幸ばあちゃんの家

あっぷるカフェ

日時 5月10日(水)
13時30分～15時30分
場所 本荘北公民館

ひだまりカフェ

日時 5月9日(火)
13時30分～15時
場所 サ高住ひだまり

四つ葉カフェ

日時 5月20日(土)
13時30分～15時
場所 東部コミセン

参加費はすべての会場で100円です

家族会

日時 5月13日(土)
13時30分～15時30分
場所 幸ばあちゃんの家

問合せ 地域包括支援センター 079-435-1841

伝言板

このページに関する問合せは 播磨町社会福祉協議会 TEL.079-435-1712
E-Mail info@harima-wel.or.jp

心配ごと相談

秘密厳守

日時 毎週火曜日 13時～16時
場所 福祉しあわせセンター

知的障害者(児)相談

日時 第2火曜日 13時～14時30分
場所 播磨町福祉会館

困りごと相談

秘密厳守

日時 5月11日(木)・25日(木) 13時～15時
場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員がご相談をお受けします。

法律相談

日時 5月2日(火) 13時30分～15時30分
高齢者や障害者の方のお金や財産の管理(成年後見制度)についての相談もお受けします

福祉相談

日時 5月17日(水) 13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員がご相談をお受けします。

子育て相談

日時 5月22日(月) 13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員がご相談をお受けします。

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

令和
5年度

地域包括支援センター・ 元気アツプ出前講座

地域包括支援センター職員や運動指導員・栄養士・歯科衛生士等が、地域の高齢者の集まりに出向いて介護予防と健康づくりのお手伝いをします。ご活用ください！
(おおむね5名以上のグループでお伺いします。)

申込み・問合せ 地域包括支援センター TEL 079-435-1841

番号	テーマ		内容
①	いきいき百歳体操	運動指導士	百歳体操は何が良いの？体操の内容と効果を解説 30分（簡易版）で実際のおもりをつけて体操しましょう。
②	ポールウォーキング	マスターコーチ	最近、歩くのが遅くなったと感じる方… よい姿勢と歩幅で歩いてみましょう（基本は屋外実施）。
③	タオル体操	運動指導士	タオルを使ったストレッチ、筋力アップ、指先運動など ちょっとした工夫で効果的に身体を動かしましょう。
④	フレイル予防レシピ	栄養士	フレイル予防3ヶ条と食事のポイントを解説 毎食きちんと食べることで身体はつくられていきます。
⑤	お口の健康	歯科衛生士	オーラルフレイル予防、口腔機能チェック、 正しい口腔ケア、かみかみ百歳体操。
⑥	在宅介護のはなし	主任介護支援 専門員	介護保険制度やサービス、元気なうちに 心がけておくポイントについて。
⑦	認知症のはなし	認知症地域支援 推進員	認知症の理解と早期発見・対応の重要性 認知症になっても安心な地域をめざしましょう。
⑧	権利擁護のはなし	社会福祉士	消費者被害や高齢者虐待を防ぐために 私ができること、地域で考えること。
⑨	ACP（人生会議）	包括職員	“命の危機が迫った時、想いは正しく伝わらない。もっと 早く言うといったら良かった！こうなる前に人生会議しとこ” ～厚労省パンフレットより～ もしバナカードゲームで話し合い体験等を行います。
⑩	健康ワンポイント	保健師	高齢者に多い疾患、脱水の予防、難聴、 認知症の予防、フレイル予防。

★講座時間のめやすは、①～⑤…60分 ⑥～⑩…30～60分(内容による)

★各内容を組み合わせての実施も可能 詳細ご要望に応じます。

※費用は無料です。1会場につき年間2回まで利用できます。

※申込みは実施日の1ヶ月前までにお願いします。(日祝日は要相談となります)



寄付者ご芳名

あたたかい善意をありがとうございました。
(令和5年3月8日～令和5年4月3日)

(所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)



●福祉のために

(個人の部)

地区名	氏名	備考
本 荘 中	匿 名	物 品

●供養

(個人の部)

(敬称略)

地区名	氏名	備考
緑ヶ丘	遠藤 静代	亡子供養

地域福祉活動アドバイザー

川原 諭



皆さまはじめまして 川原諭(かわはらさとし)と申します。

2023年3月から播磨町社会福祉協議会に週2～3日い

て、地域福祉活動アドバイザーとして関わらせていただ

ております。明石市出身、明石市在住。ご縁があり、播磨

町でお仕事をさせていただく事となりました。まずは、私自身が皆さんの住む播磨町の事を

知り、播磨町の“地域福祉”・“地域活動”が今より少しでもより良いもの

自己紹介

となるように、社会福祉協議会がともに歩いていけるようにしていこう

と思っております。どうぞよろしくお願い致します。

〈防災講演会を開催しました〉



3月10日(金)、NPO法人神戸の絆2005理事の大濱義弘氏を講師に
迎え、防災講演会「大震災の教訓から学ぶ～自分の命は自分で守るた
めに～」を開催しました。阪神淡路大震災の発生時、神戸市内の小学
校校長だった講師の大濱氏は、28年経った今も、震災語り部として多
くの人々に自身の経験と教訓を伝え続けておられます。今回の参加者
の中には、実際災害ボランティアとして活動したことがある方、また自
身も大震災の被災者である方等もお見えになりました。

自身も大震災の被災者である方等もお見えになりました。

災害時、まずは自分の命を守ること、そして日頃から支え合う地域づくりを構築しておくことがい
かに大切かを大濱氏は熱く語られました。最近では、南海トラフ巨大地震の襲来が想定されていま
す。大濱氏より、「大地震が起これば、避難所に自衛隊がすぐ来てくれるという期待はしないほうが
良い。一週間以上来ない可能性がある。だからこそ今、
日頃からの備えが最も必要だ。」との話がありました。

大震災の心の傷は、28年経っても未だ消えないとい
う大濱氏。今後、防災から減災へとシフトし、「未来」へ
の備えが重要であることを
改めて教えていただく貴重
な時間でした。

